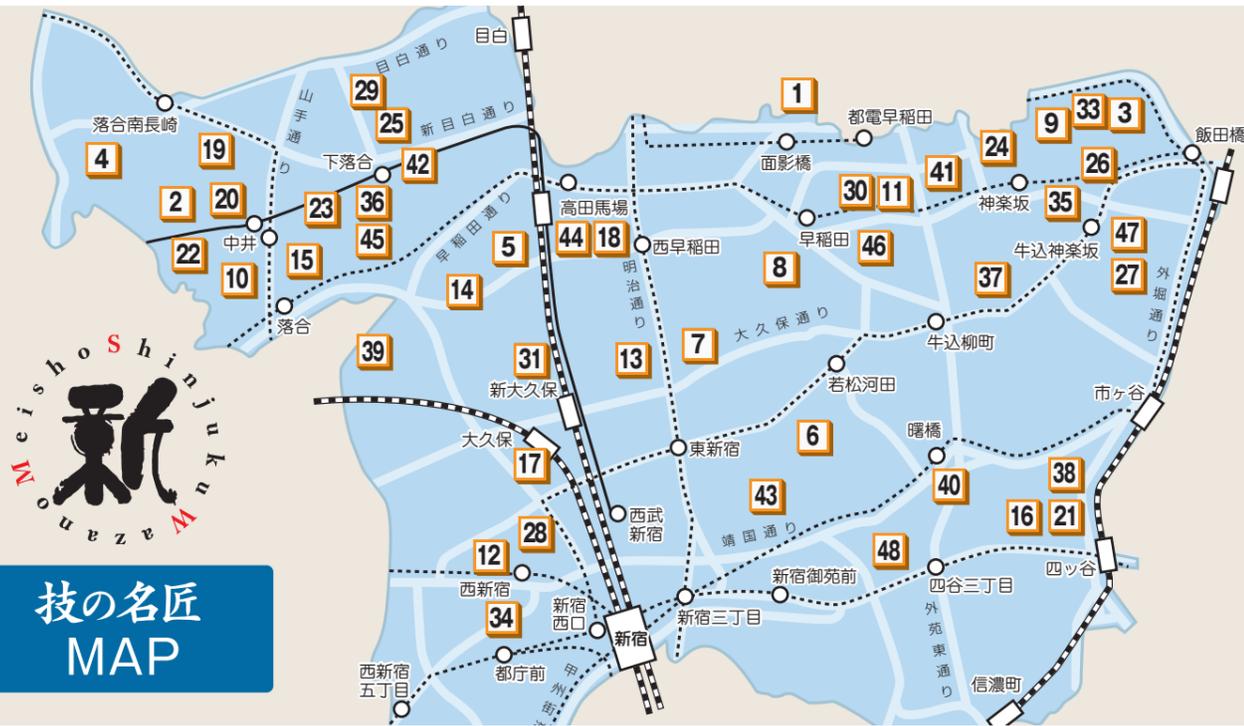


新宿区 技の名匠 紹介

新宿区では、区内の事業所でものづくり産業の同一業種に10年以上携わり、優れた技術・技能を有し、かつ後進の指導を行い他の模範となる方を「技の名匠」として認定しています



技の名匠 MAP

技の名匠 認定者一覧

年度	番号	氏名	業種	住所	電話番号
平成20年度	1	富田 篤	東京染小紋	(株)富田染工芸 西早稲田3-6-14	3987-0701
	2	西澤 幸雄	東京手描友禅	染の西澤 中井2-22-11	3953-4538
	3	青木 勉	製本	司製本(株) 東五軒町5-19	3260-2483
	4	兼平 欣治	シール印刷	(有)松屋特殊印刷 中落合4-26-22	3954-2758
	5	石田 毅司	つまみかんざし製造	インダ商店 高田馬場4-23-28-401	3361-3083
	6	松田 義明	紳士服製造	(株)テーラーマツダ 新宿6-16-22	3352-0008
平成21年度	7	飯島 武文	東京手描友禅	榊延工房 戸山2-33-1334	3203-8755
	8	石崎 直治	日本刺繍	馬場下町18	3203-2472
	9	高岡 昌生	活版印刷	(有)嘉瑞工房 西五軒町11-1	3268-1961
	10	故市瀬 廣夫	帽子製造	アトリエ アキコ(有) 上落合3-14-9	3368-6225
	11	坂本 国雄	金属原型彫刻	サカモト彫刻 東稜町12-4 鳥畑ビル1階	3235-0226
	12	伊藤 史安	管楽器修理(フルート)	村松楽器販売(株) 西新宿8-11-1	3367-6000
平成22年度	13	高橋 一郎	管楽器修理(管楽器全般)	高橋管楽器 大久保2-16-33 高橋ビル1階	3209-7750
	14	熊崎 和人	東京手描友禅	熊崎工房 高田馬場4-27-15 エスカイヤ高田馬場402	3365-6610
	15	松田 光二	染色補正	(有)松田 上落合2-21-25	3368-1594
	16	松本 義明	桐箆管製造	(株)箆管の松本 四谷2-10-6	3355-1151
	17	石森 信二	管楽器製造	(株)石森管楽器 百人町1-20-23	3360-4970
	18	山本 隆志	弦楽器製造	(株)弦楽器の山本 高田馬場1-29-2 恒栄ビル2階	3209-2134
平成23年度	19	福室 隆一	無地染	福室染工場 中落合4-21-17	3953-6048
	20	真淵 貴昭	東京手描友禅	工房 貴美 中井2-21-26	3953-7675
	21	大橋 信彦	足袋製造	(有)むさしや 四谷本塩町1-7 コート金井101	3351-7359
平成24年度	22	竹内 正治	和竿製造	和竿工房 竹内 上落合3-20-15	3362-0428
	23	故藤塚 勝栄	義肢・装具製造	(有)藤塚製作所 上落合2-21-15	3362-0414
平成25年度	24	工藤 博	手描友禅	染色工房 藤彩 中里町12	3268-5956
	25	砂川 裕孝	東京染小紋	(株)松綱染工所 下落合4-4-32	3951-3721
	26	鮎澤 剛	革製品製造	鮎藤革包堂 筑土八幡町5-12 SKビル	3267-0409
	27	捧 恭子	婦人靴製造	Belpasso(ベルパッソ) 神楽坂3-6 佐藤荘1階	5228-6528
	28	萩森 弥郁夫	管楽器修理(オーボエ・バスーン)	(株)ルポア 西新宿7-19-9 西新宿ビル	5989-1157
	29	大澤 学	東京手描友禅	東京手描友禅工房 協美 下落合4-6-17	3954-3331
平成26年度	30	北川 幹雄	紋章上絵・染色補正	(有)幾久清 早稲田鶴巻町521	3202-0964
	31	多湖 朋	管楽器修理(管楽器全般)	(株)ダク 百人町2-8-9	3361-2211
	32	並木 良夫	表具	廃業	
平成27年度	33	渡邊 博之	製本	(株)博勝堂 西五軒町9-1	3269-5248
	34	藤井 正	和食調理	ハイアットリージェンシー東京 西新宿2-7-2 (代表)	3348-1234
	35	井上 豪	和生菓子製造	(資)梅花亭 神楽坂6-15	5228-0727
平成28年度	36	吉澤 敏	湯のし	(有)吉澤湯のし加工所 上落合1-9-8	3368-2521
	37	田島 靖教	内装木質・アルミ建材等補修	(株)バーンリペア 北山伏町1-11 牛込食糧ビル3階	5227-1390
	38	水野 功一	畳製造	水野畳店 四谷本塩町1-5	3341-1760
平成29年度	39	宇佐美 隆三	浸染	宇佐美捨染工所 北新宿4-25-13	5330-6816
	40	岡本 尚也	印章彫刻	岡本印房 住吉町1-10 J&E高田ビル1階	3353-2265
	41	佐々木 精一	活版印刷	(有)佐々木活字店 稷町75	3260-2471
平成30年度	42	中村 博幸	引染	ふじや染工房 高田馬場3-28-13	3368-8559
	43	佐藤 順子	洋裁	Jフローラ 富久町34-6	3357-7283
	44	高橋 俊隆	琴・三味線修理	(有)高橋琴・三味線店 高田馬場1-31-8-109	3209-6531
平成31年度	45	遠藤 興喜	手描友禅(金彩)	藤工芸社 上落合1-7-12	3362-8874
	46	平林 隼人	手描染	染芸工房 隼人 弁天町4	3202-0653
	47	相田 茂	和生菓子製造	(有)五十鈴 神楽坂5-34	3269-0081
	48	常川 直喜	畳製造	高岡屋常川畳店 四谷4-18-2	3351-8611



このロゴマークは「技の名匠」を表し、新宿の「新」と新しい未来に向かう「新」をイメージしています

新宿区

技の名匠及びロゴマークは新宿区の登録商標です



平林隼人

ひらばやし はやと

業種 手描染
事業所 新宿区弁天町4 染芸工房 隼人
電話 03-3202-0653

昭和27年生まれ。工業化学を学んだ後、調香に関わる仕事に従事していたが、19歳のときに染色に興味を持ち、染色家・袖山栄太郎に師事。34歳で独立し、現在の工房を構える。

糸目友禅、ろうけつ(染)、金彩蒔絵加工など複数の技法を習得し、着物だけでなく襖や屏風、歌舞伎衣装の制作や修復も手掛けている。複数の技法を組み合わせた作品づくりを行っているところも、特筆すべき点である。

なかでもろうけつ(染)と金彩に卓越し

た技能を持ち、ろうけつ(染)では染料にもこだわり、絹地の風合いや生地目を活かす工夫を重ねてきた。金彩でも伝統的技法に加え、ときには巧みなカッター使いで自ら切り出した型紙を使うなど、イメージの具現には積極的な努力を惜しまない。作品には伝統美と独創性の融合が見られる。

現在特定の弟子はいないが、新宿区染色協議会にて若手職人への技術指導を行い工房開放のイベントに参加するなど染色業界の活性化に尽力している。



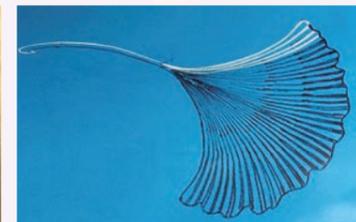
糸目友禅・ろうけつ(染)・金彩を組み合わせた作品



グラデーションを大胆に取り込んだろうけつ(染)作品



金箔・金泥・野毛・石・砂子を使用した金彩



繊細な模様も自ら型紙を作成する



相田茂

あいだ しげる

業種 和生菓子製造
事業所 新宿区神楽坂5-34 (有)五十鈴
電話 03-3269-0081

昭和26年生まれ。大学卒業後すぐに世田谷区のと菓子店に入社し、生菓子製造と餡煉りを学ぶ。24歳で実家の「五十鈴」に戻り、2代目として現在に至る。

和生菓子は餡を基本にすべて手づくりし、団子も自分で米から挽いた上新粉を使うなど、材料へのこだわりも強い。店舗に隣接する工場では現在5名の職人とともに自らも一緒に作業することで指導育成にあたっている。豆大福、団子のような餅菓子など伝統的な菓子をつくりつつ、2種の餡を自家製パイ生地できるので焼く「神楽坂饅頭」や、ふんわりとした皮でつぶ餡を挟んだ「神楽坂どら焼き」など、いずれもオリジナル商品として開発した。これらは先代からの「甘露甘納豆」や昭和59年「第20回全国菓子大博覧会」で受賞した「くりやま」と並ぶ人気商品となっている。

地元の神楽坂通り商店会では役員や毎年夏の「神楽坂まつり」の実行委員長を務め、また神楽坂五丁目自治会の町会長としても地域貢献に努めている。東京和生菓子商工業協同組合牛込支部所属。



毎朝、団子、豆大福、焼き菓子、の順でつくっていく



外国の方にも人気の「神楽坂饅頭」。くすみ餡と小倉餡の2種がある



「神楽坂どら焼き」。つくり立てが店に並ぶ



常川直喜

つねかわ なおき

業種 畳製造
事業所 新宿区四谷4-18-2 高岡屋常川畳店
電話 03-3351-8611

昭和33年生まれ。新宿区四谷で約150年営んできた「高岡屋常川畳店」の5代目。代々引き継がれてきた畳の製造・修復に40年間従事している。

最近、稲わらを縫い留めた畳床に代わり、断熱性や軽量化を重視したポリスチレンフォームや建材を固めた畳床が多いため、その硬さから機械縫いも取り入れている。しかし、畳の角をシャープに整えたり、藁床のすき間やへこみの微調整には伝統的な手作業と勘が求められる。また、寺社仏閣の座敷の畳縁には、家紋の「もんべり」を施すが、紋がきちんと並んで見えるような角の処理には熟練を必要とする。卓越したそれらの技術は、6代目となるご子息へ伝授されつつある。

四谷四丁目商交會会長、四谷四丁目町会副会長を務め、また四谷須賀神社では総代を務めるなど、地域の発展や安全に貢献するとともに、東京都畳工業協同組合理事として組合の発展にも努めている。



手縫いでは「手当て」と長い針を使う



紋縁の角は45度で縫い合わせ、紋に縫い目が目立たぬよう仕上げる



6代目のご子息・泰平さん



最近では軽量化した畳床が多い